

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
交通環境論	環境政策・環境経営論からみた交通産業	笠井 文雄	2年次後期
講義の目的	鉄道、自動車、航空などの交通産業は、あらゆる場面で環境問題に密接に関わっています。一言で交通産業に関わる環境問題と言っても、温室効果ガスの排出、大気汚染、騒音など多岐にわたっており、それぞれの問題の対策には、個々の原因や背景を理解する必要があります。本講義では、環境政策論や環境経営論の基礎概念をベースとして、交通産業をとりまく環境問題を包括的に理解してもらいます。		
到達目標	本講義では、以下の三点を主な到達目標とします。 ① 社会人として知っておくべき環境政策・環境経営に関する基礎概念を身につけること。 ② 交通産業における環境対策について正確に理解すること。 ③ 企業の環境対策に関する自分なりの見解を持てるようになること。		
内容講義	本講義では、交通産業における環境問題に関する重要概念を解説していきます。また、毎回、鉄道事業を中心とした交通関連企業を取り上げ、環境問題への取組事例を紹介していきます。		
講義スケジュール	第1講	オリエンテーション (授業の進め方、講義計画等の説明)	
	第2講	環境政策1 公害対策から環境対策への変遷	
	第3講	環境政策2 政策手段としての規制・課税・補助金	
	第4講	環境政策3 気候変動・温暖化対策と温室効果ガス排出取引	
	第5講	環境政策4 交通事業とESG投資・グリーン調達・環境影響評価	
	第6講	環境経営1 環境報告書とCSR報告書	
	第7講	環境経営2 国際規格と外部認証制度	
	第8講	環境経営3 環境会計と環境経営指標	
	第9講	交通の大気汚染問題1 自動車排出ガス規制と技術の進展	
	第10講	交通の大気汚染問題2 モーダルシフト政策	
	第11講	交通のエネルギー問題1 自動車の事例	
	第12講	交通のエネルギー問題2 鉄道の事例	
	第13講	交通のエネルギー問題3 航空の事例	
	第14講	交通の騒音問題 鉄道と航空の事例	
	第15講	まとめ	
方法指導	プリントを配布するとともに、パワーポイントによるスライドを用いた講義を中心に行います。		
授業外学習	予習は必要ありませんが、早い段階から最終課題であるレポートの準備が必要となります。具体的には、各自で企業の取組事例を調べ、自分なりに文章としてまとめることが求められます。		
成績評価方法	本試験（レポート）80%、平常点（授業内での提出物）20%		
テキスト	特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。		
書籍参考	環境省編『環境白書』。このほか、講義中に随時紹介します。		
事項記	なし		